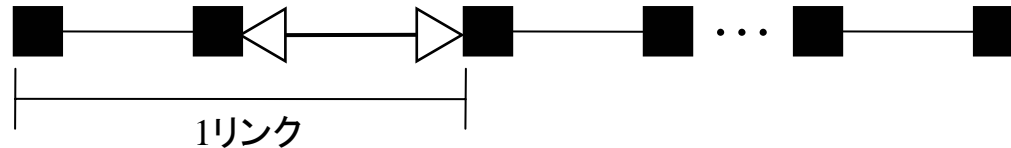


- (1)本競技は、U/UTPケーブルをモジュラジャックとモジュラプラグの接続により、より長く接続することを競う。
- (2)以下の接続図に従って、両端プラグ成端のパッチコード、両端ジャック成端のツイストペアケーブルを作成し、各々を接続する。



- (3)はじめは、モジュラジャックの作成から始めること。最後は必ずジャックで終わること。
- (4)パッチコード、ツイストペアケーブルの長さは約0.3mとする。
- (5)結線はいずれもT568Aとする。
- (6)モジュラジャックは支給する。モジュラプラグは各自が持ち込むこと。
モジュラジャックはNR3061(松下電工)、モジュラプラグはCat.5e(型番任意)、ケーブルはU/UTP(Cat.5e)とする。
- (7)競技時間は30分とする。
- (8)競技開始前に、モジュラジャックのIDCキャップを外しておくことを禁じる。
- (9)同一作業(外被除去など)を複数のケーブルにまとめて行うことを禁じる。
- (10)準備時間は設けないので、休憩時間中に準備を行うこと。
- (11)接続タイム開始時は、作業椅子に座って、いつでも作業開始ができる状態にしておくこと。
- (12)作業台、作業椅子の使用は自由とする。
- (13)ラベリングは必要ない。
- (14)競技エリアの正面で作業をすること。
- (15)競技中にトラブル等が発生した場合は、挙手のうえ、競技委員に申し出ること。
- (16)上記以外の作業については、各競技者が工夫をして行ってよい。

課題5の採点ルール

以下のルールにより算出されたポイント数により絶対評価点と相対評価点の合計点を課題5の点数とする。

基本ポイント: 接続されたリンク数を目視により確認・算出し、1リンク=1ポイントとする。

- ①ワイヤマップ試験をリンク全体で行い、ワイヤマップエラーが生じた箇所は断線と判断し、その箇所を最終接続箇所としてリンク数を算出し、最終ポイントとする。
- ②①の断線箇所は、接続開始口から順に、各リンクを測定していくことにより判別する。
- ③リンク全体のワイヤマップが正常であった場合は、次に各リンクを順に測定する。各リンクとも正常であった場合には、基本ポイント=最終ポイントとする。
- ④成端箇所に、より戻しや外被異常などの不良箇所があった場合には、基本ポイントより0.5/箇所減じる。
- ⑤ルールの違反があった場合には、基本ポイントより4減じる。
- ⑥最後がプラグで終わっている場合は、基本ポイントより1減じる。

配点表

10点	_____
7点	15ポイント
6点	_____ 14ポイント
5点	_____ 12ポイント
4点	_____ 10ポイント
2点	_____ 6ポイント
0点	_____ 0ポイント(0接続)

相対評価点

出場選手の中で、接続ポイントが上位5位の者に対して配点する(3、2、1.5、1、0.5)。

絶対評価点

接続ポイント数により配点する。